

## 「きのこ研修会」 活動報告

活動日： 2023年 9月 2日（土） 晴れ

場 所： 埼玉県県民の森

参加者： 高杉 早川 毛利 辰尾 鴻森 岡登 池田  
久保 浅井 田崎 本田 町田 （12名）

報告者： 町田



### （概 要）

朝起きると天気も良く、研修会日和でした。ただ気温は35度近くになるとのことでしたので、暑さが少し心配でした。私は、南与野に6時10分に行き浅井さんとともに久保さんの車に同乗させていただき県民の森に向かいました。かなり距離がありましたので、県民の森の駐車場には8時30分頃到着し、準備を整え集合場所に向かいました。集合場所に行くと、中央広場があり、大きな望遠レンズを持った野鳥観察の方が10人程度いました。標高が900m程度あるのでとても涼しく感じました。

9時30分に12名集合し、池田会長と今回共催の埼玉県農林公社の方が挨拶されてからきのこ研修が始まりました。研修は、きのこを発見するたびに、高杉さんが様々な解説をしてくれました。きのこの採り方、どこをどのように観察すればよいかなどを説明していただき、きのこが崩れないように新聞紙で包み保管していきました。森林インストラクターの試験勉強で、きのこのことは多少勉強しましたが、木の根に絡みついているきのこを説明していただいたときにはじめて菌根菌を目にしました。やはり実践は勉強になると感じました。参加者全員で様々なきのこを採取して11時30分頃戻り昼食をとりました。やはり山で食べる食事はおいしかったです。12時から皆で採取したきのこの同定作業に入りました。図鑑を見ながらの同定作業ですが、何を手掛かりに探してよいのかの見当もつかず苦戦の連続でした。同定しながらも高杉さんに解説していただき非常に勉強になりました。最終的に33種類のきのこ+不明12種類となりました。きのこは比較的観察できる時期が短いので覚えるのは難しいと感じました。きのこで一番印象的だったのは、色と形が特徴的なタマゴタケでした。改めて森林の奥の深さを知りました。今後も参加させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



タマゴタケ



シロオニタケ



コガネヤマドリ



イロガワリ



イロガワリ(下面)



イロガワリ(断面)